



内山さとこの活動報告



内山さとこのびのび歩む会 〒180-0012 武蔵野市緑町2-3 A7-501 080-3758-1057 Email-satochi@y8.dion.ne.jp

原発ゼロの夏に向けて省エネルギーと 自然エネルギー活用を取り組みを

武蔵野市の平成24年度一般会計予算は556億5千万円で、対前年比11億8千万円(2.1%)減でした。施政方針で廃止するとした私立小・中学校等保護者補助金等については、事務事業評価の過程と結論に疑問が残りました。審査の結果、事業や施策の改廃にあたっては、当事者である市民への周知期間を設け、激変緩和策を講じる必要がある旨の付帯決議とともに、全会一致で可決・成立しました。内山さとこは、予算特別委員会副委員長として審査・運営にあたりました。

5月5日に北海道泊原子力発電所が停止し、日本の原子力による発電は42年ぶりにゼロとなりました。これから電力需要が増加する夏に向けて、原子力発電に依存することなく社会経済が成り立つのが問われることとなります。

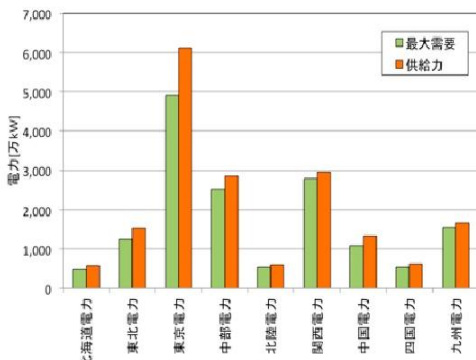
昨夏の東京電力管内の節電効果は約18%でした。総電力量に占める原子力発電の割合はおよそ2割でしたので、節電の取り組みによって「脱原発依存」の道筋が開けたといえるでしょう。

昨夏、市の公共施設の節電実績も対前年比約20%で(武蔵野プレイスを除く)、消費電力の抑制によって夏の電力需要に耐えられることが実証されています。環境エネルギー政策研究所では、電力会社間での電力の融通やピークカット、揚水発電活用などによる、独自の需給見

通しを示しています(左グラフ)。まずは、消費する側の生活スタイルの転換、賢い節電の取り組みが、原発に依存しない社会への近道となります。

isep 環境エネルギー政策研究所

図2. 2012年夏の電力会社別の電力需給 (ISEP推計)



予算特別委員会Q&Aピックアップ

Q 財政援助出資団体は、市民生活に密着したサービスを提供するなど、支え合いの地域社会づくりに果たしていく役割は大きい。各団体の主体性・自立性を重視して「指導・監督の方針」を見直すべきでは。

A 社会の課題解決を図るためにふさわしい形になっているのか、13団体の設立の経緯などを踏まえて、あり方を見直していきたい。

Q 健康福祉総合計画に関して、子ども分野での地域リハビリテーションの展開を。

A すべての子育て家庭を支援する視点から子育てステーションモデル事業を実施する。成長の過程に応じて途切れのない支援を行うために、福祉・医療・教育・子育て支援等各機関の連携を図っていきたい。

Q 市内産農産物の放射性物質の検査は、これまで東京都が検査を行ってきたが、平成24年度以降の検査方法は。

A 東京都の検査に加えて、農協として放射能簡易検査を毎週行う方針であり、市内農産物にも実施される予定である。

Q 災害時の障がい者・高齢者など災害弱者の居場所が問題となっているが、福祉避難所と一時避難所との連携・機能分担は。

A 福祉避難所には専門的なケアを必要とする方を、一時避難所には「おもいやりルーム」などを設けるなど「今後の防災対応指針」をまとめた。

*予算特別委員会の詳しい審査の内容は、武蔵野市議会ホームページでもご覧いただけます。

世代を超えて公共の価値を育む

3月議会 内山さとこ 一般質問

若い世代が希望をもてる社会に

内山 子どもや若者の意見・参加を尊重することは、すべての人間を尊重する社会の実現につながる。将来世代である子どももの市政参加のしくみづくりについての考えは。

市長 子どもの意見を聴く機会を工夫し、責任をもって市政に反映させていきたいと考える。

玉川上水の保存とまちづくり

内山 東京都の都市景観マスタープランで、環境基本軸と位置づけられた玉川上水の史跡としての保存と、まちづくりについての考えは。

市長 玉川上水は水と緑のネットワークの基軸であり、都の事業・計画に協力し、市民・来街者にとって潤いある憩いの場として、景観に配慮したまちづくりを進める。

「まちの記憶」を継承する

内山 街並みや景観を、世代を超えた公共の価値とするガイドラインや制度が必要では。

市長 色彩・広告物等について景観計画ガイドラインを作成し、景観行政団体となり積極的に景観形成を進めていきたい。



玉川上水の起点である羽村の取水堰にて（2012年2月）

今年度から介護保険料が変わりました

3年ごとの見直しがされ、所得に応じて年額2800円から13800円の増となります。非課税世帯の負担を抑制するよう段階を分けました。なお、介護保険サービスを利用する低所得者の方の負担を軽減する下記の事業は、継続します。

* 市民税非課税世帯で…

* 介護保険料を滞納していない方は…

- ① 利用者負担1割の半分が助成されます。
- ② 通所介護・通所リハビリテーション等の食費が1食あたり200円助成されます。

<介護保険料について詳しいお問い合わせ>

高齢者支援課 ☎ 60-1845 まで

「原発都民投票」直接請求成立！

福島第1原子力発電所の事故の後も、私たちは、原子力発電に依存する生活を続けるのかどうか…。電力の大量消費地として東京都民の判断が問われる原発都民投票条例。その直接請求署名活動で、東京都で32万3076人分の署名が集まり、目標の22万筆を大きく上回りました。武蔵野市では、6130筆の有効署名（法定数の倍以上、有権者数の約5%）が確認されました。ご協力ありがとうございました。

今後、知事の意見をつけて6月の都議会（5日～20日）に提案され、審議されます。

はたして、初の都民投票は実現するのか？
都議会の議論に注目しましょう。

みんなで決めよう「原発」国民投票

<http://kokumintohyo.com/>

☆七夕のつどい ☆ 市民社会福祉協議会 主催

映画 「英国王のスピーチ」

と き：7月8日（日）10時～14時～2回上映

と ころ：市民文化会館大ホール

* 会員無料（当日会場で入会できます）

昨年、市民社会福祉協議会でボランティア保険「天災プラン」に加入したのは2323件（前年102件に比べ23倍！）でした。大勢のボランティアが東北の被災地に出かけた証しではないでしょうか。4月から、新たに市職員も4名が長期派遣されています。これからも、息の長い支援を継続していきたいと思えます。